

(別記)

2020 年度平川市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が約 60%で、次いで大豆面積の割合が約 5%、「地域振興作物」として推奨している夏秋トマト・ミニトマト並びにそれらに次ぐ「地域振興作物」として位置づけているニンニク、その他一般野菜・花き等を含めた高収益作物面積の割合が約 2%となっており、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかしながら、人口減少に伴う主食用米の需要減少を踏まえ、他の作物への作付転換の更なる促進を図ることで、水田面積を維持する必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水田面積の維持が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

市内の約 3,000ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

売れる米づくりの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や出荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、農業者が蓄積してきた稲作の多収技術や既存農業機械を有効に利用できる飼料用米の生産拡大を図る。飼料用米の本作化や生産拡大にあたっては、県設定の産地交付金を活用し、多収品種の導入を図ることにより、作付面積の拡大を目指す。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

主食用米の需要減が見込まれる中、県設定の産地交付金を活用しながら農業所得向上のため輸出事業者と連携し、輸出用米の作付面積の拡大を目指す。

エ WCS 用稲

取組なし

オ 加工用米
取組なし

カ 備蓄米

主食用米に代わる作物として安定した生産が可能となる備蓄米について、買入入札に係る青森県の優先枠等を踏まえ、状況に応じて生産を行う。

(3) 大豆、種子大豆、飼料作物

地域設定の産地交付金を活用し、種子大豆については、県内の大豆生産拡大により、需要が拡大すると見込まれることから、団地化及びブロックローテーション等の生産性向上や増収・低コスト化に取り組み、安定生産を図る。

また、当市の集落営農組織（法人）等が取組みの中心である大豆についても、種子大豆と同様に団地化及びブロックローテーション等、生産性向上に取り組み、作付面積の拡大を目指す。

飼料作物は、取組なし

(4) そば、なたね

取組なし

(5) 高収益作物（園芸作物等）

ア 地域振興作物（夏秋トマト・ミニトマト）

「地域振興作物」として奨励する夏秋トマト・ミニトマトについては、これからの市の農業を担う、新規就農者等の若手農家を中心に、トマト等施設園芸の導入が加速しているため、地域設定の産地交付金の活用により品質と生産を向上させ、産地化を目指す。

イ 地域振興作物（ニンニク）

りんごを中心とした果樹や水稲との複合経営に適しており、農業所得向上のため、産地化を目指し面積拡大に取り組む必要がある。ニンニクの栽培が増加傾向にあるため、地域設定の産地交付金の活用により品質と生産を向上させ、産地化を目指す。

ウ 地域振興作物の一般野菜・花き

市・農協が連携して推進している野菜等産地の総合的な強化や、市が推進している産地消において、学校給食における地元野菜の利用率が増加してきていることから、地域設定の産地交付金の活用により安心・安全、安定供給の推進を図る。

(6) 畑地化の推進

取組なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	1811.9	1824.0	1824.0
飼料用米	60.7	63.8	63.8
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	3.6	2.6	2.6
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0
備蓄米	12.1	10.2	10.2
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	155.3	135.6	135.6
飼料作物	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	62.17	68.48	68.48
野菜			
・夏秋トマト・ミニトマト	14.38	14.96	14.96
・ニンニク	4.69	3.72	3.72
・その他野菜	35.24	41.32	41.32
・花き・花木	6.92	7.77	7.77
・その他	0.94	0.71	0.71

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	目標値
1	種子大豆・大豆	大豆・種子大豆 栽培助成	取組面積 単収	(2019年度) 124.0ha (2019年度) 210 kg /10 a	(2020年度) 135.6ha (2020年度) 180 kg /10 a
2	地域振興作物 (夏秋トマト・ミニトマト)	地域振興作物助成 (重点野菜①)	作付面積	(2019年度) 14.38ha	(2020年度) 14.96ha
3	地域振興作物 (ニンニク)	地域振興作物助成 (重点野菜②)	作付面積	(2019年度) 4.69ha	(2020年度) 3.72ha
4	地域振興作物の 一般野菜・花き・そ その他	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 41.4ha	(2020年度) 48.51ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。